

# 週刊 学びのコミュニティ

第17号

平成21年6月17日発行

## 【紹介】

今回は、社会形成科目群の中の“**ヒューマンコミュニケーション**”の授業をご紹介します。これは、学内演習、保育所実習、児童館における子育て支援ボランティア体験実習を通して、人間力を高め、自らのコミュニケーション能力を向上させることを目的とした授業です。

ヒューマンコミュニケーションの授業では、「人に向かい合うこと」を学んでいます。子どもたちとのゆったりとした時間の中では、爽やかな汗をかく学生の様々な表情がみえてきます。学生は、子どもたちの目線、立場に立とうと一生懸命です。私たちも学生と向かい合おうとした時、大切にしたい意識だと思えます。

### <学生さんの声>

\*はじめは緊張していたが、散歩に出て外の空気に触れることでお互いの緊張が取れてパートナーの笑顔を見ることができ、本当に嬉しかった。外の木々を見たり、ちょうちょを見たり、車を見たりしている子どもの表情が真剣だった。なんだか一生懸命生きてるんだなと思えて、感動した。大学に入学して、外をゆっくり眺める時間がなかったが、子ども達との散歩で、夏のおいを久しぶりにかぐことができたように感じた。



保育所実習のようす



\*前回よりもパートナーの笑顔が多く見られたので、僕も嬉しかった。「笑う」以外の表情からもパートナーの気持ちをくみ取っていきたいと思います。実習前に相手の話を「聴く」ことの大切さを学びましたが、この実習でも相手の表情から相手の気持ちを「聴く」ことができるように頑張りたいと思います。

私たちは知らず知らずのうちに、相手に対して「上から目線」になっていることがないだろうか？何気なく「～してあげる」表現をしていないだろうか？まず、相手の立場に立って感じたり、考えたりしてみる・・・それが人に向かい合う「原点」かもしれないと思います。(長宗 雅美)



## 学びのコミュニティー 勉強会のご案内



『ともに生きる～多文化共生時代へ～』をテーマに、勉強会を行います。“多世代間交流には、お互いが歩んできた背景を知ることが重要ではないか”と、嵯峨山和美特任助教からの話題提供です。

現在、中学3年生が活用している「公民」の教科書を見ながら、学生の視点を一緒に考えてみませんか？

**\*日時：6月25日（木） 14時30分～16時**

**\*場所：学生支援室**



社会人、教職員のみなさまのご参加をお待ちしております！

### ★今週のおすすめ★

書籍：ルポ 貧困大国アメリカ

著者：堤 未果

出版社：岩波書店

名前：総合科学部教員

書評

二極化（富める者とそうでない者）するアメリカの貧困層の実態。なぜそうなるのか、なぜ抜け出せないのか—を自らの取材を通じてレポートしています。

おすすめ度

★ ★ ★ ★ ☆

アメリカに興味のある人には5つ星

書籍：発達障害の子どもたち

著者：杉山登志郎

出版社：講談社現代新書

名前：全学共通教育センター教員

書評

発達障害の子どもも普通学級に入れるのはいいか？薬はよくないか？一般に議論になっている話題について、きちんと議論され、論点が明確になっている。

おすすめ度

★ ★ ★ ★ ★

### ～編集後記～

昨日今日と、常三島キャンパスの教職員を対象に健康診断が行われています。その診断票には“1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上”、“日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上”それぞれ実施しているか、という質問項目があり、どきっ…改めて運動らしい運動をしていないことに気が付きました。



体を思いっきり動かすって、汗をかくって気持ちがいい、その時はそう思うのですが、それを習慣づけるのが大変であり、また、重要であり…生涯学び続けるエネルギー、それを支える健康な体づくりを今から少しずつ始めなければ。確実に衰えている自らの体に焦りを感じるこの頃です。（境）